

# ブータンの山と文化

写真展と講演会

## Mountains and Culture in Bhutan

Photo exhibition of the mountains



ヒマラヤの王国ブータンの知られざる山々や人々の暮らしを、撮りためてきた写真で展示します。これは山の日の制定にちなんだ行事です。また、ブータンと縁の深い京都大学の霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院のアウトリーチ活動の場でもあります。

ブータンの大きさは九州程度で人口約 70 万人。チベット仏教が国教の立憲王政の国です。南北に約250 km程度ですが、インド平原の続きの標高100mから7541mの未踏峰ガンケルブンツムの頂きまで7000mを超える高低差があり、多様な生物の垂直分布をみることができます。また最近ではGNPにかわる GNH（国民総幸福）の理念の提唱でも知られています。

詳細は以下のHPにどうぞ：<http://www.wildlife-science.org/yama/?0819>



- 会期** 平成27年11月25日(水)-29日(日)
- 時間** 午前9時～午後5時  
(初日は午後3時から/最終日は午後4時まで)
- 会場** 松本市美術館 2F多目的ホール  
※観覧無料
- 主催** 京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・  
リーディング大学院(PWS)  
全国「山の日」協議会
- 共催** 京都大学学士山岳会(AACK)

## 特別講演会

会場 松本市美術館 2F多目的ホール(写真展会場内)

写真展にあわせ関係者による特別講演をおこないます

※申込不要：直接会場にお越しください  
※できるだけ公共交通機関をご利用ください



11月26日(木) 17:00～18:00

講師 坂本 龍太 京都大学白眉センター・特定助教

タイトル:ブータンの小さな診療所

ブータンにあこがれた一人の医師が、多くの人々の協力のもとスタートした地域に根ざすプロジェクトの記録をお話します。

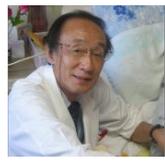


11月27日(金) 12:00～13:00

講師 松沢 哲郎 京都大学霊長類研究所・教授

タイトル:ブータンに学ぶ国のありかた

「京都大学ブータン友好プログラム」の取組をご紹介します。また、長い歳月をかけてひとつの国との関係を深め、現地目線でニーズを発信し、日本の具体的貢献を提言できるリーダーを育成しようという、京都大学PWSの挑戦もお話します。



11月27日(金) 17:00～18:00

講師 松林 公蔵 京都大学東南アジア研究所・教授

タイトル:ヒマラヤ登山から発想を得た「私のフィールド医学」—本邦からブータンへの還元—

京大山岳部の登山を通じて、フィールドサイエンスの考え方を医療にも適応できないかと考え続けてきました。本邦、アジア、ブータンで展開している高齢者ヘルスケアの実践を報告します。



11月28日(土) 13:00～14:00

講師 山本 真也 神戸大学大学院国際文化学専攻・准教授

タイトル:チンパンジー・ボノボ研究者がみたブータン

「京都大学ブータン友好プログラム」で渡航した霊長類学者の目に映ったブータンの姿をお話します。



11月29日(日) 13:00～14:00

講師 山本 宗彦 登山家

タイトル:山から学んだ事 ヤブ山からヒマラヤへ

エベレスト登頂者(1988年)が山の魅力をお話します。